

# HIROSHI ASADA

## EXHIBITION

### 麻田 浩 展

2016年2月10日[水]→4月17日[日]

開館時間：11：00～17：00（最終日 16：00） 休館日：毎週月・火曜日（祝日は開館） 入場無料

Art Gallery 呼友館 KAWAGOE IMOZEN

〒350-1106 埼玉県川越市小室 15-1 いも膳 Tel・Fax: 049-243-8243  
<http://www.kawagoe.com/imozen/koyoukan.html>



《地・影》 油彩、キャンバス 1989・90年

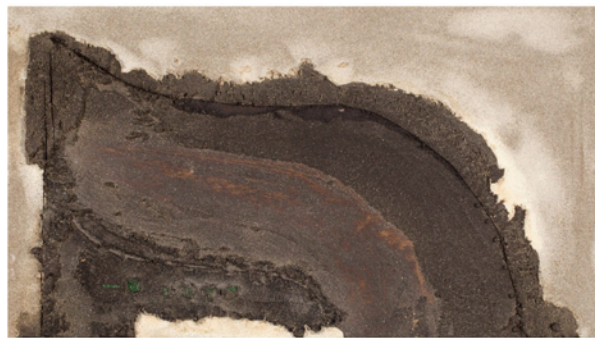




《緑の風景》 油彩、キャンバス 1976年



《無題》 ミクストメディア



《無題》 ミクストメディア



《無題》 ドローイング



《婦人像》 ドローイング



《原風景(赤)》 油彩、キャンバス 1975年

#### 麻田浩と自己認識としての想像力

2016年はダダイズム誕生百周年、シュルレアリスムの創始者ブルトン没後50年に当たるが、この記念すべき年に、20世紀後半日本美術の知られざる一面を特徴づける重要な画家麻田浩展が、畏友篠田正治氏のご尽力により川越呼友館で開催されることは大変意義深い。「知られざる」と書いたのは、麻田がリルケへの想いから1971年に渡仏し十数年に渡りパリ画壇と深く関わることで、透徹した想像力による内的思索の独自の形象化を実現した、私たちの文化圏では稀な作家だからである。帰国後、彼は「想像力によって画家の世界たる作品ができる。日常性に埋没してしまう自己でなく、画家自身が何ものであるかが、想像力によって明らかにされるだろう」(『アトリエ』83年11月号、表記一部改変)と述べていたが、麻田浩の想像力の世界は「生と死、現実と想像、過去と未来等々が矛盾対立するものとして認識されなくなるような一点」(ブルトン)の探求とみごとに重なっている。今回は最初期のアンフォルメル調の作品なども展示され、まさに見逃せない個展である。———塚原 史(早稲田大学倉津ハル記念博物館館長)

#### 麻田 浩 HIROSHI ASADA (1931-1997)

- 1931年 京都生まれ。父は日本画家・麻田辨白(べんじ)、兄は日本画家・麻田鷹司。
- 1969年 京展にて須田賞受賞。
- 1970年 京展にて万博賞受賞。
- 1971年 フランスに渡る。
- 1974年 第6回カーニュ・シュール・メール国際絵画フェスティバルに招待出品。  
プリ・ナショナル賞受賞(フランス)。
- 1975年 第18回安井賞展にて佳作賞受賞。
- 1976年 第6回オステンド・<ヨーロッパ絵画賞>展にて第2位賞受賞(ベルギー)。
- 1977年 第2回カンヌ国際版画芸術ビエンナーレにて銅版画部門第1位。
- 1978年 第7回クラコフ国際版画芸術ビエンナーレにてメダユ・ドヌール賞受賞。
- 1982年 日本に帰国。京都に居を移す。
- 1983年 サロン・ド・ソシエテ・ナショナル・デ・ボザールにて  
プリ・アンリ・ファルマン受賞(パリ)  
京都市立芸術大学美術学部の教授に就任。
- 1985年 サロン・ド・ソシエテ・ナショナル・デ・ボザールにて  
プリ・アルフレッド・シスレーを受賞。
- 1995年 第13回宮本三郎賞を受賞。  
京都府文化功労賞受賞。  
京都市文化功労者賞受賞。
- 1997年 京都市龍安寺のアトリエで自ら命を絶つ。  
日本、ヨーロッパ各地、アメリカにて数多くの個展を行う。  
麻田浩公式サイト <http://hiroshi-asada.wix.com/site>



【アクセス】 関越自動車道川越ICより約10分  
東武東上線 川越駅、西武新宿線 本川越駅よりタクシーで約10分

#### Art Gallery 呼友館 KAWAGOE IMOZEN

アートギャラリー 呼友館  
〒350-1106 埼玉県川越市小室 15-1 いも膳  
Tel・Fax: 049-243-8243  
<http://www.kawagoe.com/imozen/koyoukan.html>



# HIROSHI ASADA EXHIBITION